

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年8月25日 (14:00~15:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 上村 川崎 坂口な 石村 原田 泉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	9人	0人	0人	11人

前回の改善計画
・シート等を活用し不足する部分は職員同士確認しておく、また必要時には積極的にミーティングを行い本人や利用者がまず何を必要としているかを知り信頼関係を構築する。

前回の改善計画に対する取組み結果
・新規利用の方の情報が取りやすくなったが急な利用が多く難しい面がある。
・不足している情報はケアマネに伝え確認することが出来ている。
・前サービス利用がある方の情報は得やすいが、新規利用者の情報が不足気味。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	6	2	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	10	0	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	6	1	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	6	2	0	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ケアマネからの情報を確認し支援に活かすことが出来ている。
・本人や家族とコミュニケーションをとり情報収集している。
・記録に残し情報を共有できるようにしている。
・一人では気づかない事もシートを活用する事で把握できている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・気持ちを表に出されない方がおられ、真の思いをくみ取る事が出来ない。
・書面だけの情報になりがちで遅い。
・情報はしっかりと確認し対応を考えるが思う様に行かない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・新規利用者は書面での情報と共に、朝礼やミーティング等で口頭でも解りやすく説明し情報が共有できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年8月25日(16:30~17:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 上村 星野 坂口か 坂口な 石村 原田 泉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	1人	0人	11人

前回の改善計画	・初期の目標は介護支援専門員が立てるが他の職員も関わりを持ち、それぞれ職員が意識しながら目標に沿った支援が出来るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ケアマネから担当職員等に伝え目標が確認できている。 ・きちんとした情報により目標に添った支援が出来ているが、全利用者までには至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	3	7	1	0	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	5	5	1	0	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	8	1	0	11
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	4	3	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・日々の関わりのなかで、本人の意思や希望を確認、ミーティングや申し送り時に報告し共有が出来ている。 ・定期的な評価により、目標の修正変更が出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・本人の自主的に「～したい」事が明確になっておらず実施できてない。 ・コミュニケーション不足、楽な方へ向かってしまう。 ・危険行為のある利用者があり、他の利用者の支援までは難しい時がある。 ・高齢で実施が難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・業務を優先せず、利用者に寄り添い、真の思いをくみ取るようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年8月27日 (14:30~15:10)

3. 日常生活の支援

メンバー 川崎 坂口な 甲斐 古閑 泉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	2人	0人	11人

前回の改善計画	・業務の効率化を図り、利用者に積極的に関わる事が出来る様に調整し必要な時間を確保する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・全介助や危険行為がある利用者に職員がとられ、他の利用者への関わりが少なくなっている。 ・時間を見つけ関わりの中で、利用者を理解しようと努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	8	1	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	5	1	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	10	0	0	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	6	0	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	7	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・コミュニケーションを図る事で利用者の変化に気づき支援に活かすことが出来ている。 ・利用者の状態も日々変化する為、気づいた点があれば申し送りやミーティングで情報を共有し早めに対応している。 ・業務改善を図り事務的な作業が効率よくなり利用者に関わる時間が持てるようになった。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・うまく表現できない方の理解が難しい。 ・本人の真意が掴めないままの支援になっている。 ・本人より家族の意向を優先して、利用者本位にする事が難しい時がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・表情などで思いをくみ取り根気よく本人や家族に関わり、情報は記録に残し共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年9月1日 (14:30~15:20)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 川崎 坂口か 石村 原田 古閑 泉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	5人	2人	0人	11人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 介護職員も積極的に地域住民との関わりを持ち、利用者が安心して住み慣れた地域で生活できるように支援する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 独居や高齢者世帯等、在宅生活に心配な方がおられた時には区長や民生委員に情報提供できた。 地域に出向きサロンや出前講座に積極的に関わり支援に活かせるよう努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	9	2	0	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	7	2	0	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	9	2	0	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	4	5	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 民生委員等を把握し必要時連携が取れるような関係づくりが出来ている。 本人や家族と関わる時に自宅での過ごし方について確認できている。 地域資源を活用し、在宅生活を継続するための協力が得られている。 出前講座やサロンに積極的に参加し利用者の住んでいる地域の情報を収集している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 家族と同居されており困った事もない為、民生員や地域の社会資源等積極的に把握していない。 本人と地域の方との関係性が十分に把握できていない。 利用者本人が元々地域との関係が希薄な為消極的な関わりになっている。 地域の方と関わる事が少なく、積極的に地域の情報収集ができていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 積極的に社会資源の把握を行い、利用者が地域との関係が切れないように支援する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年9月3日(14:10~15:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 上村 坂口か 坂口な 古田 古閑 泉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	6人	1人	0人	11人

前回の改善計画
・利用者とのコミュニケーションを取れる時間(個別に関わる時間)を確保する。
・担当者でなくても得た情報は職員同士共有できるように記録に残す。

前回の改善計画に対する取組み結果
・詳しく記録に残してある為、把握ができ支援に活かしている。
・得た情報は担当に直接伝えることができる。
・送迎時等の時間を活用し個別に関わる時間を持つことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	6	4	0	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	5	0	0	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	5	1	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	7	0	0	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の希望や環境、精神面の変化に気づき、担当者や相談しながら支援できている。
・普段と違った様子などがあつた時には記録に残し申し送り等でも情報の共有が出来よう努めている。
・ニーズに応じ、柔軟に急な変更の対応や支援が出来ている。
・ボランティア等と交流の機会を作り、顔なじみの関係を作れるように努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・現在地域資源の活用が必要と思われる方はおられない為。
・変化がありその日の利用者の全部を把握し共有できていないところもある。
・利用者の住まいが広域で社会資源の把握が十分ではない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・本人が困った時に必要な社会資源を活用し支援出来るようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 4 日 (14 : 00 ~ 15 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 上村 坂口か 坂口な 古田 古閑 泉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	1人	0人	11人

前回の改善計画

- ・地域との交流の機会を増やす為、今後も家族や地域への働きかけを継続していく。
地域であるイベントを確認し、年間行事に取り込み住民との交流が出来るようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・GH との合同のイベントや地域のボランティア等の協力を得ながら、利用者が地域の方との交流が図れるように努めた。
- ・広報や自治会からの情報を積極的に収集し利用者が地域の行事に参加できるようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	4	4	2	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	2	2	7	11
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	3	2	3	3	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	5	5	0	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・医療機関や福祉用具を取り扱っている業者とは良好な関係が築けている。
- ・近くの同法人 GH 等と共同でイベントが行えるようになり利用者も喜んでおられる。
- ・保育園児や地域のボランティア等の訪問があり交流が来ている。
- ・地域での行事にも、出来るだけ参加できるよう計画している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者の ADL の低下や環境の厳しさ等により外出するイベントには参加が難しくなっている。
- ・事業所を知ってもらっても何かきっかけがないと地域の方も訪問しにくい状況。
- ・積極的に会議に参加できていない。
- ・イベント等家族への働きかけを行うが、苦痛に思われ遠慮しがちになっている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・地域である行事には継続して参加し、なるべく多くの方との交流が図れるように努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 4 日 (14 : 30 ~ 15 : 00)

7. 運営

メンバー 上村 古田 石村 泉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	6 人	0 人	11 人

前回の改善計画

- ・有事の際、地域の住民に必要とされる事業所として、要介護状態の住民の受け入れが出来るように体制を整える。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・幸い災害は無く受け入れた事は無かったが、有事際の心構えが出来た。
- ・運営推進会議等で情報提供できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	4	5	1	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	10	1	0	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	7	4	0	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	5	5	1	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・地域からの要望があれば勤務調整し、参加協力できるようにしている。
- ・管理者やケアマネージャーが日頃より地域との関わりを持ちその情報を他の職員に伝達している。
- ・利用者や家族からの意見はスタッフ間で共有し改善点など話し合える機会を作っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域の方と直接接する機会も無く、意見等頂ける程の関わりが少ない。
- ・事業所の業務が優先となり、地域での活動に積極的に参加できず、地域住民との関わりを広げることが出来ない。
- ・自分の意見を上手く表現し伝えられないので言わない事が多い。
- ・実際災害が無く地域の方の受け入れなど無かった為積極的には動いていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・実際の災害時に動けるようマニュアルを作成する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年9月4日(16:00~16:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 上村 星野 坂口か 坂口な 古田 石村 原田 甲斐 泉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	6人	2人	0人	11人

前回の改善計画	・研修会に参加できるように勤務調整を行い、積極的にスキルアップや資格取得が出来る様にする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・リスクマネジメントには積極的に取り組み事故防止に努めた。 ・研修計画に添い研修に参加したいと思うが、希望する外部研修が無い為その機会が少ない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	6	3	0	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	6	0	11
③	地域連絡会に参加していますか	1	0	2	8	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	5	1	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・目標に向かい積極的に研修に参加する意思はある。 ・職場内外の研修に参加しスキルアップに努めている。 ・リスクを理解し再発防止に努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員の意識の差があり、必要性は理解しているが研修参加に消極的な者もいる。 ・希望の研修がなく参加できていない。 ・資格取得したいと思うが、日々の業務に追われモチベーションもあがらず実行できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・年間計画に添った研修に参加し、必要な知識を習得できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年9月5日(14:00~15:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 上村 坂口な 石村 原田 古閑 泉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	4人	3人	1人	11人

前回の改善計画

- ・スピーチロックに気付いたらお互いに注意できる職員関係を築き改善を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・勇気を出して個人的に注意することが出来ない。
- ・理解し注意しているつもりだが「ちょっと待ってください」とつい言う時がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	9	2	0	0	11
②	虐待は行われていない	11	0	0	0	11
③	プライバシーが守られている	6	4	0	1	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	0	1	8	11
⑤	適正な個人情報の管理ができています	8	3	0	0	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・身体拘束や虐待は行われていない。
- ・職員は必要性を理解し、個人情報を職場から持ち出しする事はなく守れている。
- ・他の職員に注意できており、自分でも利用者への声掛けは注意して行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・安全を確保するために、トイレの中で見守る事がありプライバシーを守ることが出来ない時がある。
- ・排泄介助中等プライバシーが守られていない時、利用者の立場になっての行動が出来ていない時がある。
- ・対象者がいない為に成年後見制度の活用はない。
- ・「ちょっと待ってください、〇〇してから来ます」との声掛けをしてしまう。
- ・職員の認識の甘さ。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・身体拘束の指針を日頃目につくところに貼り再度職員の意識づけを行う。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 郁栄会	代表者	伊東山 洋一	法人・ 事業所 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・法人医療機関との連携により医療面も安心して過ごすことができ、理学療法士等の協力で身体機能の維持が出来るよう指導いただいている。 ・積極的に地域の行事やサロン等に参加、“ささえりあ”や校区社協等と協力し今まで築いてきた地域との関係を継続しながら利用者だけでなく地域住民も安心して暮らしていけるよう支援している。
事業所名	シニアクラブ菱形	管理者	泉田 美津子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	1人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者や家族、地域住民と積極的に関わり、何を必要とされているのかを把握。信頼関係を構築し情報を共有し支援していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンや地域行事に管理者だけでなく介護職員も徐々に関わる事が出来るようになった。今後も社会資源の把握に努め利用者が地域との関係が途切れない様にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善を図る事は大事な事だが現状を維持し強化する事も必要。 ・新人やベテランの職員誰もが現状を把握し、意見できる場がある事は良い事。 	評価結果を活かしサービスの質の確保や向上につなげる。また、地域住民との関係づくりを継続し必要な支援を実施する。
B. 事業所のしつらえ・環境	皆様が居心地良く過ごせるように環境を整え、気兼ねなく来所出来るような工夫を継続し行う。また地域の皆様がもっと利用しやすいように、看板に矢印等の工夫を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・看板等の工夫により地域の方も利用しやすくなった。 ・季節に合った作品作りやそれぞれの利用者に合わせた席の配置を行い安心して過ごせるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看板が増えた事で気づかれた住民の方も居られ、訪れたい方が気兼ねなく行けると良いのでは。 ・防犯も必要である。 	来所される方々が気軽に来やすい雰囲気づくりを心掛け、気兼ねなくゆっくり過ごしていただけるよう努める。
C. 事業所と地域のかかわり	積極的にサロンやイベントには関わり、地域住民との交流や地域貢献が出来るよう努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に出向きサロンや出前講座に積極的に関わり支援に活かした。今後も協力を継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン等に関わって地域に貢献でき、事業所も地域の方に知って頂ける良い機会になっているのではないかと。 	サロン（健康チェック、出前講座）への協力を積極的に行い、地域住民の方が健康で過ごしていただけるよう支援し、事業所を知って頂ける機会を増やす。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	今後も地域行事等の情報を把握し、利用者が行事に参加できるよう。またサロンや送迎時の近隣の変化や気づきをささえりあ等につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ・広報や自治会からの情報を積極的に収集し、利用者が地域の行事に参加でき交流が図れるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の放送や情報を活用し、利用者が地域行事に参加できている事は良い。 ・住民の生活を見守ってもらえると地域も安心。 	外出困難な利用者も増えてきているが、本人の状況に合わせた安全な外出を心掛け地域住民とふれ合える機会を増やす。
E. 運営推進会議を活かした取組み	当事業所の利用者だけではなく、地域の心配な方への関わりが持てるよう関係者との情報交換及び共有を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・独居や高齢者世帯等、在宅生活に心配な方がおられた時には、情報提供などが出来るような協力体制を整えることが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況やサービス内容を説明してもらい理解できている。 ・以前より連携も取りやすくなっている。 	心配な住民の方がおられたら、早めに情報提供に努め必要な支援に繋がれるように努める。
F. 事業所の防災・災害対策	地域で実施される防災訓練に継続して参加、事業所も地域の必要とされることに応えられるよう備える。	<ul style="list-style-type: none"> ・有事の際の心構えが出来た。 ・災害時の協力状況について情報提供が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所と地域が連携取れるようにしておくが良い。 	災害時に必要な支援が出来るよう、基準を明確にし地域住民と連携が図れるように協力体制を整える。

